

ワクワク！

治田小 学校だより

2025年12月23日

栗東市立治田小学校

NO. 11

ワクワクした修学旅行！

12月5日～6日には、6年生が広島市へ修学旅行に行きました。修学旅行のめあては次の3つです。

①平和記念公園で平和の大切さを学ぼう。

②公共のルールやマナーを身に付け、治田小学校の代表としてふさわしい態度で活動しよう。

③班活動、宿泊を通して仲間との絆を深めよう。

6年生の子どもたちは、2日間を通して、最高学年にふさわしい素晴らしい姿を見せてくれました。

平和学習では、記念資料館の資料を熱心に見て歩き、たくさんメモを取ったり、ボランティアさんの説明をしっかりと聞き、質問したりできました。また、6才で被爆された語り部の内藤慎吾さんのお話を真剣な面持ちで聞くことができ、内藤さんの思いを心で受け止めることができたと感じました。

広島市の市電では、満員の乗客の中、静かにしようと声を掛け合ったり、お年寄りに座席を譲ったりすることができました。道路の歩行や広島城の見学でも、他の市民の方や観光客に迷惑をかけないようにと、橋を揃って歩いたり順番を譲ったりする姿がありました。

夜の集いでは、たくさんの有志の発表により大いに盛り上がりしました。歌やダンスの発表や、ルービックキューブ、けん玉もありました。どの子どもも発表をあたたく受け止め、心から拍手をしてみんなが一緒に楽しむことができました。仲間の絆がさらに深まったと思います。

教育の目標は、「自立」と「共生」だと思っています。自分でちゃんとやっていけるか、他の人と一緒に共同してやっていけるか、それを子どもの社会の中で身に付けていくことが大切です。近年は個人主義的な社会になってきたと感ずることがありますが、学校では一人ひとり成長を大切にしながら、隣の人の気持ちがわかる人、ルールやマナーを身に付けている人、社会に順応することができる人を育てていかなければなりません。修学旅行での6年生の姿は、ある意味、治田小学校がめざす教育目標の最終型を体現してくれたのだと思います。よい思い出いっぱい修学旅行となりました。



おいも屋さん！

今年も坊袋の畑をお借りして、ボランティアの方々の協力を得ながら、1年生と特別支援学級（レインボー）のみなで、芋掘りをしました。先日はレインボーの子どもたちによるおいもやさんが開かれ、収穫したサツマイモの販売をしてくれました。お店を開くには様々な準備があり、子どもたちはそれぞれにがんばってくれました。お店でもとても楽しんで店員をしてくれて、自分たちで作るあたたかいお店の運営ができました。



1年の締めくくり

年末年始はどのように過ごされるでしょうか。大掃除や注連飾り、家族揃ってのお正月、初詣に行かれる方もあるかもしれませんね。何事も節目は大切にしたいものです。この1年を振り返り、襟もとを正して新年への抱負が持てる機会としていただければと思います。また、家族の一員として役割を担うことも大切です。何かしら役割を任せて、うまくできればたくさんほめてあげてほしいと思います。失敗してもかまいません。その経験こそが成長につながります。ワクワクと期待をもって新年を迎えてほしいと願っています。

今年1年間、学校教育にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございました。